

ふれあいのつばさ



- ◇ 『平成30年度を迎えて』・・・・・・・・・・・・・・・・・・医療法人社団相和会 理事長 土屋 敦
- ◇ 『病院長就任のご挨拶』・・・・・・・・・・・・・・・・・・澁野辺総合病院 病院長 世良田 和幸
- ◇ 『相模原総合健診センターの移転、リニューアルについて』・・・・相模原総合健診センター センター長 小林 伸行
- ◇ 『澁野辺総合病院 常勤医師入職のご挨拶』・・・・・・・・・・・・・・・・・・内科医師 小池 幸宏
眼科医師 市橋 恒友

～平成30年度を迎えて～

新しい年度を迎え医療を取り囲む環境はますます厳しいものとなっていきます。高齢化がより進むにつれ、地域に根ざした医療・福祉の充実がさらに要求され、各医療施設はそれに応え困難ながらも運営していかなくてはなりません。当院・当法人も、地域のために努力を惜しまず新体制で臨む所存です。



医療法人社団 相和会
理事長 土屋 敦



病院長就任のご挨拶




この度、相和会理事長の土屋 敦先生より御指名を戴き、病院長に就任致しました世良田和幸です。この歴史ある組織、歴史ある病院の一員となることが出来ましたことを大変嬉しく思います。

私はこれまで、大学病院で約40年間、手術室における麻酔とペインクリニック外来での診療に携わってきました。これまでの多くの経験を瀏野辺総合病院のために生かすことが出来れば幸いです。

病院には、優秀な知識や技術を持った医師やコ・メディカル、雑務をこなす多くの人材が一堂に会しており、人間らしい相互理解と信頼の元に診療を行い、患者さん達だけでなく職員が快適に過ごせる環境を作り上げています。当院が今後も成長を続けていく為には、自分の医療を託される患者さん達に対して、職員間のハーモニーの向上が不可欠です。例えば、皆さんが有名なホテルに入った時、玄関のドアを開けて中に入ったときの雰囲気が違うと思いませんか？それは、職員の笑顔の対応や照明、そのたたずまいだと思います。

当院の理念でもある、「共生と至誠」を瀏野辺総合病院に携わるすべての職員が認識し、地域の医療・介護施設との連携は元より、地域中核病院として皆様に愛され、信頼される病院となれるよう邁進していきたいと思っております。

瀏野辺総合病院
病院長 世良田 和幸



相模原総合健診センターの移転、リニューアルについて



日頃は健診業務へのご協力や、また当センターの健診をご利用戴きまして誠にありがとうございます。

私共の相和会渕野辺総合病院におきましては、地域の医療機関として充実した内容の医療環境を整え、また将来の相模原市医療計画に対応すべく、病院の機能再編・拡張を構想して参りました。そのためのスペース確保に努力いたしましたが、残念ながら、近隣に適切な場所を確保することが困難な状況であります。

そこで、現在渕野辺総合病院に隣接し、建物としては一体になっております相模原総合健診センターを移転し、その跡地を利用して病院施設の整備、改善を図ることを計画しております。

この目的に沿い、相模原総合健診センターは明年秋、具体的には2019年9～10月を目途に古淵近隣地区へ移転し、名称を含めリニューアルオープンする方針となりました。

現在は建物の1～4階および7階を利用して健診を行っておりますが、移転後は縦の移動を抑えた3層構造とし、特に健診は1、2階で完了するようにいたします。健診内容も近年の医療技術の進展を活用しながら、高齢化社会における健診の在り方を模索しつつ、より高度な健診専門機関を目指して参ります。

健診の結果、服薬治療や長期管理が必要と判断される受診者の方には、近隣の先生方の医療施設をご紹介します。ご加療をお願いするとともに、手術や放射線治療などの高度医療を必要とする場合には、専門医療機関へご紹介とする方針でございます。

この目的のために、現在プロジェクトチームの発足など、鋭意準備を進めております。より詳細が決まり次第、この場を借りまして再びご案内させていただきます。

近隣医療機関の先生方におかれましては、この計画に対してのご理解、ご協力をお願いするとともに、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

相模原総合健診センター
センター長 小林 伸行

～淵野辺総合病院 常勤医師入職のご挨拶～



小池幸宏と申します。消化器内科、特に肝臓を専門にしています。肝がんに対する低侵襲治療であるラジオ波焼灼療法は、4000件を超える治療経験があります。脂肪肝や肝炎の治療を含めて、おなかの事でお困りの際にはお声がけください。



この度4月1日付で入職した眼科の市橋恒友と申します。人の感覚は五感（視覚 聴覚 臭覚 触角 味覚）に分けられ、そのうち実に8割を視覚から得ると言われています。このように視覚は日常生活を送る上で無くてはならない、失った場合最も影響を受ける感覚と言えます。この視覚領域において地域の皆様に貢献できるよう尽くす所存でございます。外来診療は眼科全般を、手術に関しては主に硝子体疾患と白内障を担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 編集後記 ◆

春といえば桜。4月の新しいはじまりは桜と共に！今回は桜のお話を少し。名前の由来は諸説ありますが、さくらの「さ」は「サ神様」（主に田の神様）の意味で「くら」は神様の静まる座「御座」を意味からというお話もあるそうです。

稲作の開始が桜の咲く時期と同じ頃の為、満開の桜はサ神様が降り立たれた証、その桜の根元へお酒や食べ物をお供えし皆で分け合って秋の豊穡を願ったのが、お花見のはじまりという説も。

お花見のことを桜狩り。お花見の後の疲れや綺麗な桜に酔いしれた後の疲れを花疲れ。桜の花粉には「エフェドリン」という興奮を誘発する物質が含まれているそうです。いろいろ楽しくなってしまうのはお酒のせいだけではないのかもしれませんがね。

夢見草。桜の別の名称で、桜の美しさに心を奪われ見惚れてしまう姿からついた呼び名とのこと。今年の桜は早めの開花で今はもう新緑まぶしい季節となりましたが、また次に出会える桜を夢見つつ楽しみにしたいと思います。

（広報委員 林）



〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 3-2-8

JR淵野辺駅(北口)下車徒歩5分(駐車場あり)

- * 小田急線ご利用の方は町田駅で横浜線にお乗り換え
- * 京王線ご利用の方は橋本駅で横浜線にお乗り換え
- ※快速は止まりませんので、各駅停車にお乗りください

☎ 連絡先 ☎

淵野辺総合病院 (代表) 042-(754)-2222
相模原総合健診センター (代表) 042-(753)-3301